

FAX 送信の場合 0175-71-1270 へ

・本はがきで収集した個人情報、本報告会の運営に関する当研究所からのご連絡やご案内にのみ利用いたします。

(キリトリ線)

郵便はがき

0393290

上北郡六ヶ所村

尾駁家ノ前一番七



差出有効期間
令和7年9月11日
(切手不要)

公益財団法人
環境科学技術研究所
共創センター 共創推進課 行

環境科学セミナー (六ヶ所会場)

お名前	フリガナ	参加人数	人
住所	〒		
電話番号	() ()		

放射線に関する事など聞きたいことをお寄せください。



(郵便はがき)

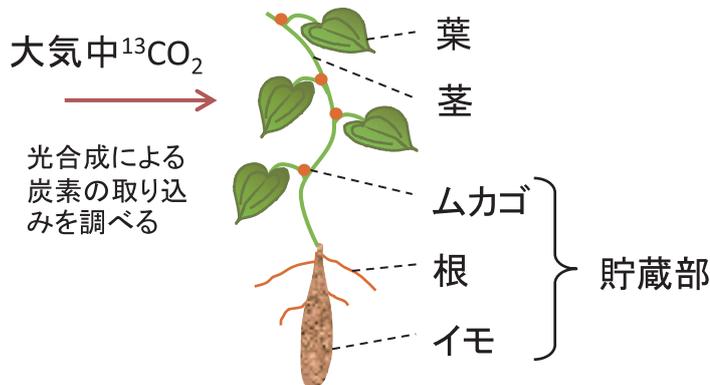
排出放射性物質影響調査 (青森県委託事業) の紹介

ナガイモへの放射性炭素 (^{14}C) の移行性と残留性を調べています

再処理施設の稼働に伴って大気中に放出される放射性の炭素 ^{14}C の一部は、二酸化炭素($^{14}\text{CO}_2$)として光合成を経て植物に取り込まれる可能性があります。当調査では、青森県の主要な農作物であるナガイモを対象として放射性炭素の移行性と残留性を調べています。

調査には、放射線を出さない炭素 ^{13}C を用いています。ポットで栽培した成長段階の異なるナガイモを特別にデザインされた植物栽培装置(写真)に設置し、炭素 ^{13}C を含む二酸化炭素($^{13}\text{CO}_2$)を送り込みます。その後、ナガイモの各部に含まれる炭素 ^{13}C を分析することで、大気中の二酸化炭素がナガイモの葉から取り込まれて収穫する部分(イモ)に移行する様子を明らかにすることができます。

調査の結果、ナガイモの成長の各段階で大気中から光合成で取り込まれる割合が明らかになるとともに、栽培期間後半に取り込まれた炭素が比較的イモに移行しやすいことなどが明らかになり、ナガイモ中の放射性炭素をより正確に評価できるようになりました。



ナガイモ各部の名称と葉からの二酸化炭素吸収



植物栽培装置による実験の様子

調査の内容や成果等はホームページ (<https://www.aomori-hb.jp/>) に掲載されています。